

独立行政法人
水資源機構
職種別
リーフレット

〔技術系〕
土木職

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 **水資源機構**

土木職

ダムや水路施設等の計画、設計、
施工監理、施設の管理運用、環境調査、
インフラシステムの海外展開、
技術開発等を行います。



《仕事内容》

ダムや水路施設等の新築・改築に関する

- 事業計画の策定 ● 調査、設計、積算 ● 施工監理
- 工事に伴う環境調査 など

完成した施設の操作、維持管理に関する

- ゲート操作 ● 配水管理 ● 施設巡視 ● 点検、維持補修 ● 水質、環境調査 など



1. ダムや水路施設等の新築・改築

ダムや水路等の新築や改築（ダム再生や水路の耐震化等）にあたっては、関係省庁や関係都府県等との調整を行いながら計画を策定します。計画を策定したら、測量や地質、環境に関する調査を行い、その後施設の設計、施工を行います。調査や設計、施工についてはコンサルタント会社や建設会社に発注するため、職員は適切な調査、設計、工事が行われているかを監督し、施設を完成させます。

2. ダムや水路施設等の運用・管理

施設の運用（操作）について、ダムは、洪水時には降雨量や流入量を予測し、ダムに水を貯め込むためのゲート操作を行い洪水被害の防止・軽減に努めます。渇水時には必要な水を河川に供給するためのゲート操作を行い、水の安定供給に努めます。水路については、利水者からの取水申し込みに対して、河川及び水路の流況を踏まえながら水を送るためゲート操作を行い、水の安定供給に努めます。また、防災対応や水の安定供給に支障をきたさないよう、点検や維持補修工事等の維持管理も行います。

3. 自然環境の保全

ダムや水路等の施設の新築や改築は、動植物の生息・生育環境への改変を伴います。また、ダムや水路等の施設の管理においては、周辺環境の変化、貯水池の水質変化、ダム下流河川の環境変化などが伴います。そのため、施設の新築や改築においては、自然環境の保全のために調査・影響予測を実施し、その結果に基づいて環境保全対策を行います。施設の管理においては、安全で良質な水を供給するため、各施設において水質の保全に努めるとともに、施設周辺の自然環境の変化を把握し、必要に応じて環境に配慮した取り組みを行います。

福利厚生

**年間有給休暇
平均取得日数**
(年次休暇・夏季休暇)
20日

保険・年金

- 各種社会保険
- 企業年金制度
- 財形制度
- 貸付制度
- 各種給付金制度

事業所ごとに宿舍を完備。住宅手当をもらいながら賃貸物件を借りることも可能。

各種制度

- 各種健康診断
- 予防接種の補助
- ストレスチェック
- リフレッシュ休暇
- 福利厚生サービス

働き方改革

- 在宅勤務制度
- 会議研修のWEB化
- ノー残業デー

福利厚生をさらに詳しく

人財育成

水資源機構の人財育成プログラムでは、職員が10年で一人前になることを目指しています。

自立・成長を支える人財開発のためにさまざまな研修や制度を整えています。

- 充実した研修 …… 年間約 80 本の研修を実施しています。
- チューター制度 …… 人財開発の観点から、若手職員を対象に直接の上司ではない管理職等が若手職員の悩みを聞き取ります。
- 資格取得費用の補助 …… 公的資格の取得を推奨し、受験費用の一部を補助しています。

詳細は特設新卒採用サイトまたは総合版パンフレットへ



【PROFILE】
理工学研究科卒
2018年入社
総合技術センター 施工監理グループ
M.K

【MESSAGE FOR YOU】
実際の現場を通じて技術力を身につけることができるのは、水資源機構だからこそだと思います。また、家庭と仕事の両立のため、柔軟な働き方が選択できることも魅力の一つです。

水資源機構では、ダムなどの施設管理、建設事業の進捗に必要な工事や業務の発注、監督を行う発注者の立場での仕事の基本となります。一方で、現在の私の仕事は、受注者の立場から、国や都道府県で計画しているダムの工事費や建設中のダムの工事の変更に係る費用算定をすることになります。業務にあたっては、担当するダムの施工計画や工程、現場条件などをしっかりと把握しておくことが重要です。公共工事の費用は積算基準と言われるルールに従って算定されており、この基準をきちんと理解する必要があるため、勉強することも多いですが、業務を通じて水資源機構の技術力を社会に還元することができる仕事です。

一番やりがいを感じるのは、自分の成長を実感できた時

す。現在の職場では、さまざまなダムの事業に触れる機会がありますが、ダムによって事業計画が異なるため、幅広い知識の習得や応用の利く経験を積むことができている。また、総合技術センターには水資源機構でもトップクラスの技術力を持つ先輩方が多くいるので、ちょっとした雑談でも仕事に役立つヒントを得ることができます。着任当初は慣れない仕事に四苦八苦して悔しい思いをしたこともありましたが、諸先輩方のご指導や日々の業務を通じて今では少しずつ仕事をこなせるようになってきました。そのおかげもあり、自分が成長していることを強く感じられる毎日を過ごせています。

将来的にはダム再生事業に携わりたいです。再生事業では、施設の持つ役割を損なうことなく工事を行う必要があり、通常の建設事業よりも高度な技術が要求されます。

また、転職を通じて赴く先々の地域の文化に触れられることや、全国転勤がありながらも仕事を続けていくために必要な福利厚生が充実している点に魅力を感じています。出産時の育児休暇や育児のために出勤時間を変更できる制度などが整備されていて、公私の両立が図りやすい点も水資源機構の良いところだと思います。家族で過ごす時間を毎日確保しながら働けることは水資源機構ならではの良さだと思います。



【PROFILE】
生物資源学部卒
2021年入社
木曾川用水総合管理所 管理課
O.A

【MESSAGE FOR YOU】
水に関する総合的な知識を身に付け、「水のプロ」になれることが水資源機構ならではの良さだと思います。水を管理するという分野において、広く重点的にキャリアを積んでいくことができると感じています。

大学生の頃、授業の一環で水資源機構のインターンシップに二週間参加しました。土木系として参加した私に対して、設備系の職員の方も熱心に説明していただき、業務に対して使命感をもって取り組んでいる姿が印象に残りました。こんな人達と一緒に働ければ仕事を通じて大きく成長できるのではないかと思います。水資源機構を志望しました。

現在は、配水管理、防災、ストックマネジメントに関する業務などを行っています。配水管理では、水路のゲートを操作して取水する量を調整するだけでなく、前日に取水した量の報告や、翌日はどれくらいの水量を取水する必要があるのかを計算し、必要量の水を流してもらうよう指示します。私は大学で農業土木を専攻しており、水路やダム、橋について学びまし

た。水資源機構で実際に働いてみても、農業用水として水が使われる量の計算など、地域の水の使われ方を元に積み上げていく必要があり、大学で学んできた農業の知識を活かすことができます。また、資格の取得に対しても業務の一環として柔軟に対応してもらえます。業務に関係する免許の取得ということで、小型船舶免許やクレーンに関する免許、中型自動車免許などを取りました。資格に関する費用の負担に加えて、業務の時間を使って資格の勉強もすることができるので、希望すれば様々な資格の取得を行えます。

水資源機構の魅力は、福利厚生が整っていることです。特に、休暇制度はとても充実しており、育休や子の看護休暇は法定基準を上回る制度が整えられているなど、様々なライフステージに配慮されています。この先どんな変化があっても安心して働け、仕事とプライベートの両立が実現できる点が大きな魅力になっています。社内の雰囲気も良く、十分な有給休暇も用意されているため、心地よく充実感を感じながら働くことができます。

今後は、建設事業に携わってみたい。管理に関するノウハウはこれまでに学びましたが、実際に施設が出来上がるまでの工程を知らないため、構造についての理解が不足していると感じています。広い視野を持ち幅広い知見を蓄積することで、今以上に活躍できる人材になっていきたいです。

さらに詳しく



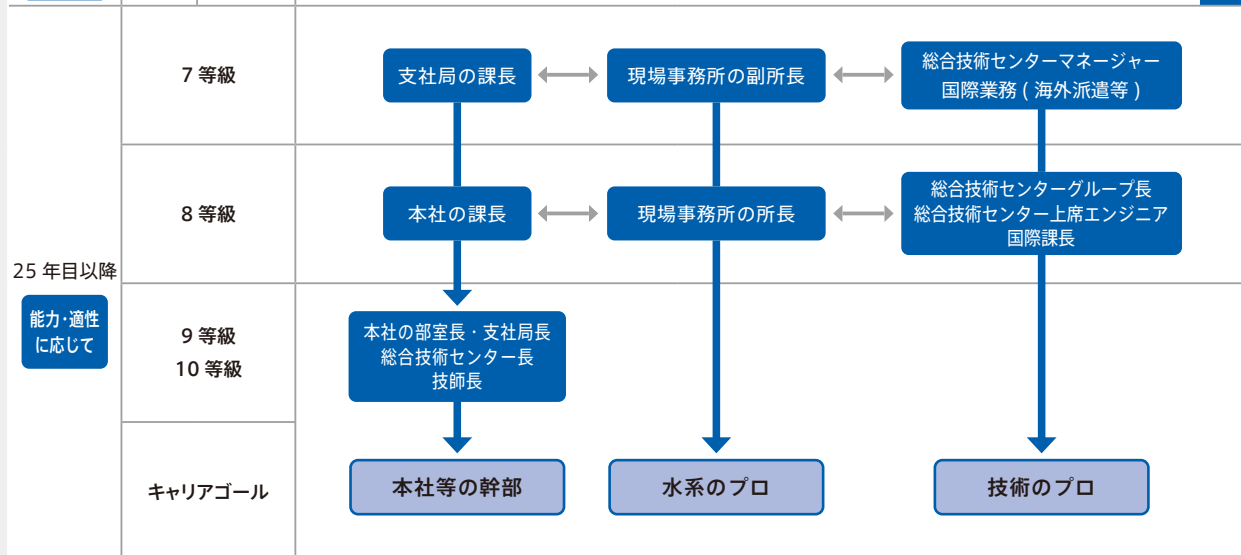
CAREER PATH FOR CIVIL ENGINEERING POSITION

土木職のキャリアパス

水資源機構では、全ての職員が組織の財産であると考えています。
一人ひとりの能力・適性を活かせる環境で
業務を通して成長していけるよう、さまざまなサポートがあります。

経験年数	役職	等級	キャリアパス (配属先)	キャリアアップ (達成目標) 《経験し求めるもの》
1年目以降	担当	1等級	現場事務所 《ダム・水路事務所の担当者》	<ul style="list-style-type: none"> 土木職としての基礎知識を理解 設計～工事監督の実施能力の修得 施設管理・操作等をこなせる能力の修得
入社後 5年程度	担当	2等級	本社・支社局、出向(国等の関係機関) 《実務担当者》 総合技術センター 《技術開発などの実務担当者》 現場事務所 《ダム・水路事務所の実務担当者》	<ul style="list-style-type: none"> 工事・業務監督を的確に実施できる能力の修得 施設操作判断、施設の状態判断ができる能力の修得 設計・施工を幅広く理解し、工事等に活かす技術の修得 業務遂行のための知識、経験を積む
入社後 10年程度	主任	3等級	本社・支社局、出向(国等の関係機関) 《本社・支社局業務の中心的担当者》 総合技術センター 《技術開発などの中心的担当者》	<ul style="list-style-type: none"> 担当業務の遂行、事務所全体の業務遂行の中心的役割、想像力を発揮できる能力の修得 部下の人材育成に必要な能力の修得 地域や関係機関との調整ができる能力の修得 技術開発など、技術力向上の中核を担う
入社後 20年程度	主査	4等級	現場事務所 《ダム・水路事務所の中心的担当者》	<ul style="list-style-type: none"> 経営方針を意識した業務遂行ができる能力の修得 海外展開を図る人材として国際業務に従事
能力・適性 に応じて	課長	5等級 6等級	現場事務所の課長等 支社局の課長補佐 本社の課長補佐	

技術士等の資格取得を目指す



独立行政法人
水資源機構

〒330-6008
埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2
(ランド・アクシス・タワー 8F)
独立行政法人水資源機構
人事部人事課 採用担当

TEL ● 048-600-6500 (代表)
MAIL ● saiyou_1@water.go.jp
WEB ● https://www.water.go.jp/

